

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

1555*JA

取扱説明書

P

◆本機の特長◆

- VIVCEL（ビブセル）
携帯電話の着信を知らせます。
（800MHz対応）
- ワールドタイム
- ELバックライト
- 時刻アラーム・時報
- ストップウォッチ
- タイマー

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

VIVCEL(ビブセル)について

VIVCEL（ビブセル）機能をオンにして自動車などを運転しますと、不用意に振動して、運転の妨げになり危険ですので使用しないでください。交通事故の原因となることがあります。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくともサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ①金属・皮革に対するアレルギー
 - ②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれをふせぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

ライト点灯について

どのモードでも、**L**ボタンを押すと文字板が約3秒間発光します。

※文字板発光中に**L**ボタンを押すと、その時点から引き続き約3秒間発光します。ただし、**L**ボタンを3秒間以上押し続けると、自動的にライトが消えます。

※**L**ボタンを押すと、10秒間キャラクターが動きます。



● ご注意

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどの電子音や振動が行なわれると、発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これは発光のために時計内部のELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

目次

安全上のご注意	
ライト点灯について	5
操作のしくみと表示の見方	8
VIVCEL(ビブセル)の使い方	10
各種設定の仕方	12
VIVCEL(ビブセル)について	18
ワールドタイムの使い方	20
都市のサーチ	20
サマータイムの設定	21
ワールドタイム都市コード一覧	22
アラーム・時報の使い方	24
アラーム時刻のセット	24
アラーム・時報のオン/オフ	28
電子音/振動の切り替え	29
タイマーの使い方	30
タイマーを使うには	30
タイマー時間のセット	31

目次

ストップウォッチの使い方	34
時刻・カレンダーの合わせ方	36
秒の合わせ方	36
時刻・カレンダーの合わせ方	38
製品仕様	42
ご使用上の注意	44
お手入れについて	47
電池交換について	48

1 操作のしくみと表示の

Ⓜボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の

時刻モード

曜日
時・分・秒
月・日
(ライト点灯)
Ⓜ

★Ⓜボタンを押すごとに曜日表示と受信時間帯表示が切り替わります。
※11 ページ参照

受信時間帯表示

★各モードでボタン操作をした後、Ⓜボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。

Ⓜ

見方

順で表示が切り替わります。

ワールドタイムモード

20ページ参照

アラームモード

24ページ参照

ストップウォッチモード

34ページ参照

タイマーモード

30ページ参照

2 VIVCEL (ビブセル) の

VIVCEL (ビブセル) は、携帯電話に電話がかかってきたことを携帯電話の代わりに振動 (バイブレーション) で知らせてくれます。



キャラクター
が動く



振動を止めるには、
いずれかのボタンを
押します。

VIVCEL (ビブセル) を使うときは、各種設定を行ない、受信をオンにしてください。

☎ 各種設定の仕方：12ページ

使い方

800MHz対応

例)
午前9時～午後9時



受信時間帯

Ⓐボタン

- ・1回押すと曜日表示/受信時間帯表示切り替え
- ・押し続けるとセットモード切り替え



Ⓑボタン

- ・1回押すとワンタッチ受信開始 (1回押すと約2時間延長。最大8時間)

Ⓕボタン

- ・1回押すと雑踏モード/郊外モード切り替え
- ・押し続けると携帯受信のオン/オフ切り替え

●表示マーク

Yll : 受信感度HIGH

Yl : 受信感度LOW

☎ : 受信オン (雑踏モード)

⦿ : 受信オン (郊外モード)

■ 各種設定の仕方

設定内容は次の3種類があります。

(1) デジタル／アナログ切り替え

(2) 受信時間帯設定

※受信オンでも時間帯が設定されていない場合は、VIVCEL（ビブセル）は働きません。（ワンタッチ受信は可）

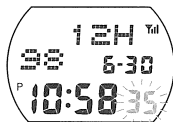
(3) 受信感度切り替え

※感度切り替えは、携帯電話との距離が約1m位ときはHIGH（ハイ）に、約50cm位ときはLOW（ロー）に合わせます。

1 セットモードに切り替える

時刻モードで

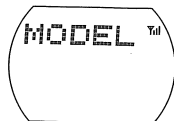
Ⓐ ボタンを1～2秒間
押し続けます



→時刻セットモードになり、秒が点滅します。

2 設定モードに切り替える

Ⓘ ボタンを押します



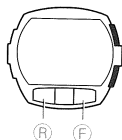
↓ 1秒後



→携帯電話のデジタル／アナログ切り替えになります。

3 デジタル／アナログを設定する

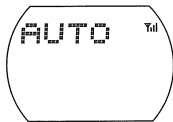
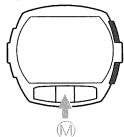
Ⓡまたはⓕ ボタンを
押します



→Ⓡまたはⓕ ボタンを押すごとにデジタルとアナログが切り替わります。

4 受信時間帯設定に切り替える

(M) ボタンを押します



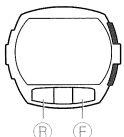
↓ 1秒後



→ 受信時間帯の開始時刻設定になります。

5 開始時刻を設定する

(R) または (F) ボタンを押します

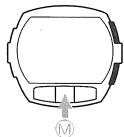


→ (F) ボタンを押すごとに1時間ずつ進み、(R) ボタンを押すごとに1時間ずつ戻ります。

※ (F)・(R) ボタンとも押し続けると早送りします。

6 終了時刻に切り替える

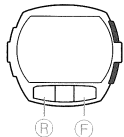
(M) ボタンを押します



→ 受信時間帯の終了時刻設定になります。

7 終了時刻を設定する

(R) または (F) ボタンを押します



→ (F) ボタンを押すごとに1時間ずつ進み、(R) ボタンを押すごとに1時間ずつ戻ります。

※ (F)・(R) ボタンとも押し続けると早送りします。

8 受信感度設定に切り替える

(M) ボタンを押します



→ 受信感度の設定になります。

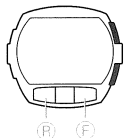


↓ 1秒後



9 受信感度を設定する

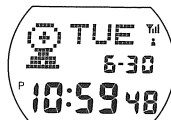
(R) または (F) ボタンを押します



→ (R) または (F) ボタンを押すごとに HIGH と LOW が切り替わります。

10 設定を終了させる

(A) ボタンを押します



※もう一度デジタル／アナログの切り替えに戻るときは、(A) ボタンを押さずに (M) ボタンを押します。

★セット表示（点滅状態）のままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

■VIVCEL(ビブセル)について

1 受信時間帯について

- ・受信時間帯を設定していない場合は、受信オンにしてもVIVCEL(ビブセル)は働きません。
- ・設定した受信時間帯を超えた場合は、自動的に受信オフになります。
- ・受信時間帯の設定は1時間単位で24時間までできます。

2 雑踏/郊外モードについて

- ・人混みの中などで、近くにいる人の携帯電話により誤作動するときは雑踏モードに切り替えます。
- ・雑踏/郊外モードの切り替えは、受信オンのときのみできます。
- ・雑踏モードに切り替えても、約1時間で郊外モードに戻ります。
- ・各種設定を行なった場合は、自動的に郊外モードになります。
- ・雑踏モードを長く使用しますと、電池寿命が短くなります。

3 ワンタッチ受信について

- ・ワンタッチ受信は、設定した受信時間帯外でも $\text{\textcircled{R}}$ ボタンを1回押すだけで約2時間分、自動的に受信オンになります。

- ・ワンタッチ受信は最大8時間(4回押す)まで設定できます。
- ・受信時間帯中に $\text{\textcircled{R}}$ ボタンを押すと、受信時間帯を超えた時間だけ延長されます。
- ・ワンタッチ受信は、各種設定を行なった場合は自動的にクリアーされます。

●ご注意

- ・時計と携帯電話の間に遮蔽物(金属やカバン等)があるときや、時計と携帯電話が離れているときは、反応しにくい場合があります。
- ・他の人の携帯電話にも反応しますので、受信感度設定や郊外/雑踏モード切り替えで調整してください。
- ・携帯電話と同じ周波数の電波を使用するものに反応することがあります。
- ・振動直後やELバックライト点灯時、各種報音時は振動しません。
- ・ご使用前に腕にはめた状態で振動を感じ取れることを確認してください。
- ・VIVCEL(ビブセル)の使用頻度により、電池寿命は短くなります。
- ・携帯電話の着信・発信・通話中にも反応することがあります。また、他の人の携帯電話でも反応することがありますが、誤作動ではありません。振動時にはお手元の携帯電話への着信を確認してください。

3 ワールドタイムの使い

ワールドタイムは世界27都市（29タイムゾー

■都市のサーチ

ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の標準時を表示します。

Ⓡまたはⓕボタンを押します



(戻る) Ⓡ (進む) ⓕ

→各都市の標準時を表示します。

※それぞれ押し続けると早送りができます。

ワールドタイムモードで表示される時刻は、時刻モードで表示される時刻を合わせるだけで、自動的に（ホームタイム設定都市との）時差に合わせて表示します。

もし、ワールドタイムの時刻が合っていないときは、36ページの「時刻・カレンダーの合わせ方」をご覧ください。時刻モードの時刻を合わせてください。

方 時刻モードのときに、Ⓜボタンを1回押してワールドタイムモードにします。
ン)の時刻を簡単に知ることができます。

■サマータイムの設定

Ⓐボタンを1～2秒間押し続けます



1時間進む

→DSTが点灯します。

※“DST”が点灯しているときにもう一度Ⓐボタンを押し続けると、通常の時刻に戻ります。

★サマータイムについて

サマータイムとはDST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。

サマータイムの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。

なお、サマータイムは各都市ごとに設定できます。

■ワールドタイム都市コー

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
---	---	-11	パゴパゴ
HNL	ホノルル	-10	パペーテ
ANC	アンカレジ	-9	ノーム
LAX	ロサンゼルス	-8	サンフランシスコ、ラ スベガス、シアトル
DEN	デンバー	-7	エルバソ、エドモントン
CHI	シカゴ	-6	ヒューストン、ダラ ス、メキシコシティ
NYC	ニューヨーク	-5	モントリオール、マ イアミ、ボストン
CCS	カラカス	-4	サンティアゴ
RIO	リオデジャネイロ	-3	サンパウロ、ブエノ スアイレス
---	---	-2	
---	---	-1	アゾレス諸島
GMT		±0	〈グリニッジ標準時〉
LON	ロンドン	±0	ダブリン
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、 フランクフルト
CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、 JRS エルサレム

ド一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
JED	ジッダ	+3	クウェート
THR	テヘラン	+3.5	
DXB	ドバイ	+4	アブダビ
KBL	カブール	+4.5	
KHI	カラチ	+5	
DEL	デリー	+5.5	
DAC	ダッカ	+6	
RGN	ヤンゴン	+6.5	
BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
HKG	香港	+8	シンガポール、クア ラルンプール、北京、 台北、マニラ
TYO	東京	+9	ソウル、平壤
ADL	アデレード	+9.5	
SYD	シドニー	+10	グアム
NOU	ヌーメア	-11	ポートビラ
WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は1997年12月現在作成のものです。
 ※時差はグリニッジ標準時（世界協定時：UTC）を基
 準としたものです。

4 アラーム・時報の使い

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間知らせてくれます。

また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

アラームと時報は電子音または振動を選ぶことができます。

■アラーム時刻のセット

アラーム時刻のセットは、アラームモードで行ないます。

1 セットモードに切り替える

Ⓐボタンを1~2秒間
押し続けます



→時が点滅します。

アラームマーク () が点灯します。

方

2 時をセットする

Ⓡまたはⓕボタンを
押します



→ⓕボタンを押すごとに1時間ずつ進み、Ⓡボタンを押すごとに1時間ずつ戻ります。

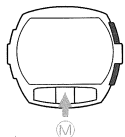
※ⓕ・Ⓡボタンとも押し続けると早送りします。

※時のセットのとき、午前(A)/午後(P)にご注意ください。

※基本時刻を24時間制表示にすると、アラーム時刻も24時間制表示となります。

3 分のセットに切り替える

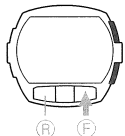
(M) ボタンを押します



→分が点減します。

4 分をセットする

(R) または (F) ボタンを押します



→(F) ボタンを押すごとに1分ずつ進み、(R) ボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。

※(F)・(R) ボタンとも押し続けると早送りします。

5 セットを終了させる

(A) ボタンを押します

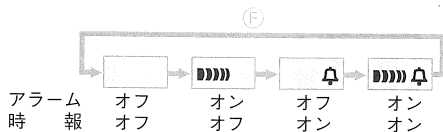


※もう一度時のセットに戻るときは、(A) ボタンを押さずに(M) ボタンを押します。

★セット表示(点減状態)のままにしておくと、2~3分後自動的に点減が止まります。

■アラーム・時報のオン／オフ

アラームモードで(F)ボタンを押すごとに、アラームマーク(|||||)と時報マーク(⊙)が点灯／不点灯を繰り返します。それぞれのマークが点灯しているときがオンとなり、アラーム・時報が行なわれます。



●電子音／振動を止めるには

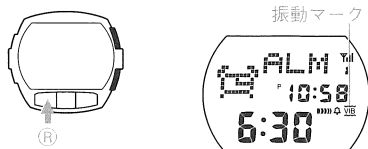
いずれかのボタンを押します。

●モニターアラーム

アラームモードのときに(F)ボタンを押している間、電子音または振動のモニターができます。

■電子音／振動の切り替え

アラームモードで(R)ボタンを押すごとに、アラーム・時報の報知方法が切り替わります。VIBが点灯しているときが振動です。



★アラームモードで報知方法を振動に切り替えると、タイマーの報知(タイムアップ音)も振動になります。

5 タイマーの使い方

タイマーはセット時間を減算計測し、セットした時間を経過すると10秒間知らせてくれます。タイマーは電子音または振動を選ぶことができます。

■タイマーを使うには

- タイマーは、タイマーモードで使います。
- F**ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。
- ロスタイムがあるときは、**F**ボタンでストップ後、もう一度**F**ボタンを押します。
- 計測を最初からやりなおすには、**F**ボタンでストップ後、**R**ボタンを押します。セット時間に戻ります。

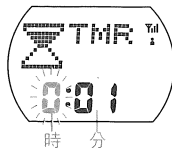


セット単位：1分
セット範囲：24時間
計測単位：1/10秒

■タイマー時間のセット

1 セットモードに切り替える

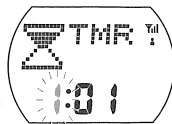
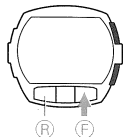
Aボタンを1~2秒間押し続けます



→時が点滅します。

2 時をセットする

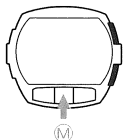
Rまたは**F**ボタンを押します



→**F**ボタンを押すごとに1時間ずつ進み、**R**ボタンを押すごとに1時間ずつ戻ります。
※**F**・**R**ボタンとも押し続けると早送りします。
※24時間をセットするときは、0:00にします。

3 分のセットに切り替える

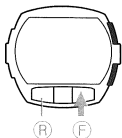
Ⓜボタンを押します



→分が点滅します。

4 分をセットする

Ⓡまたはⓕボタンを押します



→ⓕボタンを押すごとに1分ずつ進み、Ⓡボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。
※ⓕ・Ⓡボタンとも押し続けると早送りします。

5 セットを終了させる

Ⓐボタンを押します



※もう一度時のセットに戻るときは、Ⓐボタンを押さずにⓂボタンを押します。

★セット表示（点滅状態）のままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まります。

- セット時間が経過すると10秒間の電子音または振動で報知し、セットした時間に戻ります。
- 電子音／振動の切り替え
タイマーの電子音／振動の切り替えは、アラームモードでの切り替えに従います。
- 電子音／振動を止めるにはいずれかのボタンを押します。

6 ストップウォッチの使

ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測時間がこの計測範囲を超えると、自動的に0に戻って繰り返し計測を続けます。



計測中に①ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける「スプリット計測」となります。

※スプリット計測を解除するには、もう一度①ボタンを押します。



い方

●通常計測

② → ② → ①
スタート ストップ リセット
〈積算計測〉

ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに②ボタンを押してスタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム計測（途中経過時間計測）

② → ① → ① → ② → ①
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

●1・2着同時計測

② → ① → ② → ① → ①
スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット
(1着タイム表示)

7 時刻・カレンダーの合

秒の合わせ方

～30秒以内の遅れ／進みの修正～

1 セットモードに切り替える

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを1～2秒間
押し続けます



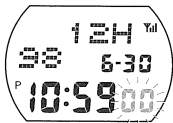
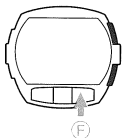
→秒が点滅します。



2 秒を合わせる

時報に合わせて

Ⓕ ボタンを押します



わせ方

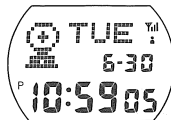
秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」からスタートします。
※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

3 秒合わせを終了させる

Ⓐ ボタンを押します



→点滅が止まります。



■時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換などで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

1 セットモードに切り替える

時刻モードのとき

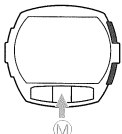
Ⓐ ボタンを1～2秒間押し続けます



→秒が点滅します。

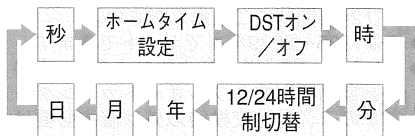
2 セット箇所を選ぶ

Ⓜ ボタンを押します



→ホームタイムの都市コードが点滅します。

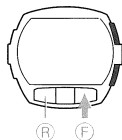
Ⓜ ボタンを押すごとにセット箇所（点滅箇所）が以下の順に移動します。



※DST（サマータイム）については21ページをご覧ください。

3 セットする

Ⓡまたはⓕボタンを押します



→ⓕボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓡボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※ⓕ・Ⓡボタンとも押し続けると早送りします。

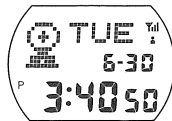
セットの仕方とご注意

- 時のセットのとき、午前(A)／午後(P)および24時間制にご注意ください。
- 年は1995～2039年までセットできます。
- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。
- 曜日は年月日を合わせれば、自動的にセットされます。
- ホームタイム設定は、**(F)**ボタンを押すごとに都市コードが1つずつ進み、**(R)**ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※都市コードの順は22ページをご覧ください。
- DST（サマータイム）設定は、**(F)**ボタンを押すと切り替わります。
- 12／24時間制表示切り替えは、**(F)**ボタンを押すと切り替わります。

手順2と3の操作を繰り返し、セットしてください。

4 セットを終了させる

(A)ボタンを押します



→点減が止まります。

★セット表示（点減状態）のままにしておくと、2～3分後自動的に点減が止まります。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精度：平均月差±20秒以内

基本機能：時・分・秒・月・日・曜日
午前(A)/午後(P)/24時間制表示
フルオートカレンダー1995~2039年

VIVCEL(ビブセル)：着信お知らせ(振動)機能
受信時間帯設定機能、アナログ/
デジタル切替機能、感度切替
機能、雑踏/郊外切替機能

アラーム：時刻アラーム
セット単位=分
電子音/振動=20秒間
時報
毎正時に2回電子音/振動で報時

タイマー：計測範囲=24時間
計測単位=1/10秒
設定単位=1分

ストップウォッチ：計測単位=1/100秒
計測範囲=23時間59分59秒99
(24時間計)
通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切替、EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト、キャラクター動画機能

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LST

使用電池：CR-2025(電池別途販売)

電池寿命：約1.5年

電子音を20秒/日、ライトを3秒/日、VIVCEL(ビブセル)を35時間/週(雑踏モード5時間含む)使用した場合

(1回の振動時間は10秒間で、1日の着信回数が3回の場合)

※ただし、VIVCEL(ビブセル)の使用条件により、電池寿命が短くなります。
56時間/週(雑踏1時間含む)の場合：約1.2年
168時間/週(雑踏1時間含む)の場合：約0.7年

ご使用上の注意

■防水性

- 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

- 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発生する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温度

- 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

■磁気

- 磁気の影響はありません。

■薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示証明用として使用としているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、匂いの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- 「サビ」
 - ・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
 - ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
 - ・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
 - ・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
 - ・皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
 - ・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」「振動が弱くなったり」「振動しなくなったり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行いません。(防水検査は別途有料となります)

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。